

「新しい時代を元気に笑顔で切り開いて行こう」

新年あけましておめでとうございます。

皆さんは、「2025年問題」をご存じでしょうか。

「2025年問題」とは、「団塊の世代」が75歳以上を迎え、5人に1人が後期高齢者となる超高齢化社会の到来によって起こる社会問題を言います。

介護・福祉の分野では、介護ニーズが高まる一方で介護を担う職員が不足し、それを支える社会保障費も増大すると言われてきました。既にその時を迎え、人材不足の中で事業運営を行っているということです。



また、この5年の間に、誰も予想していなかった色々な問題も起こっています。世界で続く先の見えない紛争、新型コロナの世界的な蔓延、物価・燃料費の高騰、猛暑・風水害・地震発生等の自然災害の脅威など、5年前には誰も予想することはできませんでした。

今年2025年を迎え、目標年を2040年へ切り替える時期にあると言われていています。2040年には、85歳以上の高齢者が1000万人を超えるとされているからです。そういう意味で2025年は、新しいステージに入る年と言えます。

協会は、2025年で設立から70年を迎えます。この間、社会や私たちの暮らしは、大きく変わりました。私たちがこれから歩んで行く道の先には、確実なものなど何もありません。2040年までに、今ある問題がさらに深刻化していくことは、想像に難くありません。

そんな中にあっても協会職員には、よく考え、創意工夫を重ね、職員ひとり一人が成長し、新しい価値の創造、挑戦、社会への貢献が当たり前になっていることが求められます。そのような職員の姿勢こそが、協会全体の成長・発展につながり、地域の方から「大肢協があって良かった」と言ってもらえるような協会になっていけるものと考えています。

これからも、新しい時代に向って、私たち協会の歩むべき道を元気に笑顔で切り開いて行きましょう。